

2021年12月28日

滋賀県知事 三日月大造様

日本共産党滋賀県議会議員団

節木 三千代

杉本 敏隆

松本 利寛

黄野瀬 明子

ただちに無症状者への無料のPCR検査等の実施を求める要望書

新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」の感染が全国に広がりつつある。オミクロン株の感染力はデルタ株より強い恐れがあり、ワクチン2回接種後に感染したとの報告も相次いでいる。

滋賀県でも12月27日、新型コロナウイルス感染症患者の検体について、ゲノム解析によりオミクロン株であることが判明した事例が、初めて1例確認された。

本事例は、海外渡航歴はなく、県外にある職場でオミクロン株への感染が疑われる患者がいて、その濃厚接触者だったことから、県は市中感染ではないとしている。

しかし、すでに通勤圏である隣接する京都府は、市中感染が認められ、新たに20代～70代の女性4人がオミクロン株に感染したと発表し、これまで8人の感染が確認され、12月24日、府知事の判断で、レベル1の段階で無料の検査が開始されている。

12月27日の記者会見で、山際大志郎経済再生担当相は、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」対策として、「未知のリスクには慎重の上にも慎重に対応すべきだ」とし、市中感染が確認された都道府県の隣接県でも希望する無症状者への無料検査を実施する方針を明らかにしている。すでに市中感染のない埼玉、神奈川、千葉県では、無料検査を実施する方向である。滋賀県でも大規模な検査でコロナを封じ込める対策をとることは急務であり、よって以下の点を強く要望する。

- 1 感染拡大の傾向がみられる場合（レベル2）ではなく、ただちに知事の判断で、無症状者への無料のPCR検査等を実施すること。
- 2 そのためにPCR検査等を実施する事業者の募集待ちではなく、ただちに県として検査体制を構築するための手立てをとること。
- 3 県ホームページトップはコロナ感染の状況・対策が一目でわかるよう改善をはかられたい。